

ま え が き

変動が激しく、予測困難な時代にあって、子どもたちが未来に対して希望を抱き、挑戦し続ける活力を育むことが教育に期待されています。そして、子どもたちの成長を支える教員には、常に学び続ける姿勢が求められています。人生100年時代と言われる昨今、職業人である教員が職場を離れて教育機関等で学び直す、いわゆる「リカレント」の重要性が増しています。当センターにおける研修員研修は、まさしく今、求められている教員の学びの姿を実現させるものであると言えます。

本県における研修員制度は、昭和50年度に始まり、昨年度までに修了した研修員は延べ594名に上ります。本研修での学びを経験した各教員は、各学校・各地方の中核的な存在として活躍し、本県教育の充実・発展に大きく寄与しています。

本年度の研修員研修においても、本県が策定した「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた修養を土台とし、今日的教育課題の解決を図るべく研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的として実施しました。

研修員によるこの1年間にわたる研究と修養の成果の一端を「令和5年度研修員研究集録（第49集）」として作成しました。研究成果については、本年1月26日に開催した令和5年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会において報告したところです。各学校・各地方においては、本研究集録とともに、当センターのウェブページに掲載している資料も併せて、これからの教育実践の参考として活用いただければ幸甚です。

最後になりましたが、本年度研修員の研修に際して、御支援・御協力をいただきました学校並びに関係教育機関の方々に、心からお礼を申し上げます。

令和6年3月

和歌山県教育センター学びの丘
所 長 森 田 浩 二